



やまなしスポーツツ  
推進プログラム



平成26年2月  
山梨県教育委員会



## やまなしスポーツ推進プログラム（概要）

### 基本理念

健康で豊かな生活を営むことができる  
「やまなしスポーツ」の創出

県民の健康で豊かな生活、  
地域社会の活性化

### 基本方策と政策目標

基本理念の実現のため、3つの基本方策、6つの政策目標を定めました。

#### 基本方策 1 ライフステージに応じた健康の保持増進・スポーツの推進

- 政策目標 1 子どものスポーツ機会の充実
- 政策目標 2 健やかな体の育成（学校保健・食育・学校安全）
- 政策目標 3 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- 政策目標 4 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

#### 基本方策 2 競技スポーツの推進

- 政策目標 5 競技力の向上

#### 基本方策 3 スポーツ界の好循環の創出

- 政策目標 6 トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進

### 計画の期間

平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間

### 計画の実現に向けて

県、市町村、スポーツ関係団体、学校等の様々な主体が連携・協働しながら、県民と一体となつて本プログラムの総合的な計画の推進を目指します。



### スポーツの定義

このプログラムにおける「スポーツ」とは、ウォーキングや軽い運動、いわゆる軽スポーツやニュースポーツからレクリエーション活動、乳幼児の遊びや運動、学校の体育・運動部活動、さらに勝利を目指す競技スポーツまで、すべての身体的運動及び運動競技を指しています。

また、「スポーツ活動」とは、スポーツを自ら行うものであるとともに、試合の観戦、大会運営の支援なども含んだ幅広い活動を指しています。



## 政策目標 1

### 『子どものスポーツ機会の充実』

学校や地域等でスポーツに親しみ、楽しさを実感することのできるスポーツ機会の充実を図ります。また、新しい時代にふさわしい指導者を育成し、子どもたちが様々なスポーツに出会い、しなやかな心を培い、健康で豊かな生活を営むことのできるスポーツライフを実現を目指します。

#### □幼児期からの子どもの体力向上策の推進

- ・ 幼児期に楽しく体を動かす遊びを行い、体力や運動の基礎を培います。
- ・ スポーツを通して社会性や創造性を育む機会を与え、健康で豊かな人生につながる運動習慣の基盤をつくります。

#### □学校の体育に関する活動の充実

- ・ 教員の指導力向上、外部指導者の活用により、体育・保健体育授業の充実、運動部活動の活性化を図り、スポーツの多様な形での関わりを紹介します。
- ・ 学校教育活動全体を通して、スポーツの楽しさや喜びを味わわせながら、児童生徒の体力向上を図ります。

### 具体的方策

#### □体力の向上

- ・ 「新体力テスト・健康実態調査」等の実施と活用
- ・ 家庭や地域のスポーツ団体等の人材活用による子どものスポーツ機会の創出



#### □教員の資質の向上と指導体制の充実

- ・ 研修会や実技講習会の充実
- ・ 外部指導者の一層の活用

#### □全国・関東規模の大会の開催

- ・ 平成 26 年度の全国高等学校総合体育大会など全国・関東規模のスポーツ大会開催による交流促進とスポーツの機会提供

#### □スポーツ環境の充実

- ・ 幼児や小学校低学年の子と親が一緒にスポーツに親しむ機会の創出

項目	平成 24 年度 (基準年度)	平成 30 年度
授業以外でほとんど毎日（週 3 日以上）運動やスポーツを実施している小学生（4・5・6 年生）の割合	男 59.3% 女 34.1%	男 65% 女 40%





## 政策 目標 2

### 『健やかな体の育成（学校保健・食育・学校安全）』

学校・家庭・地域が連携を図りながら、スポーツ活動を支える健康教育を推進します。また、事故等の防止や軽減を図り、安心してスポーツ活動を行える環境整備を行います。それらの取組によって朝食摂取状況の改善をはじめ、運動習慣や食事、睡眠といった望ましい生活習慣の定着を目指します。

#### □望ましい生活習慣の定着

- ・学校での保健管理の充実、健康教育の推進を図ります。
- ・養護教諭、栄養教諭などの専門職の活用と家庭と地域が連携した取組の促進を図ります。

#### □学校安全の推進

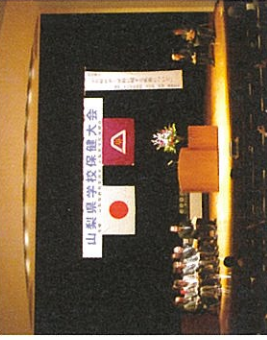
- ・安心してスポーツ活動を行うための環境を整備をし、事故、外傷、障害等の防止や軽減を図ります。



## 具体的 方 策

#### □健康教育の推進

- ・自ら進んで健康な生活を送る実践力を育成する学校保健、食育の指導内容や指導方法の充実
- ・学校保健委員会、家庭、地域と連携した体制づくりの推進



#### □スポーツ医・科学の活用

- ・スポーツ事故の防止やスポーツ障害の予防、早期発見に関する知識の学校関係者への普及啓発
- ・学校とスポーツドクター等地域の医療機関や専門家等との連携促進
- ・安全性の向上や事故防止等に向けた研修会の充実



項 目	平成 24 年度 (基準年度)		平成 30 年度	
	男子	女子	男子	女子
朝食を毎日食べる子どもの割合				
小学校 6 年	91.1%	91.7%	95%	95%
中学校 3 年	85.7%	87.5%	90%	90%
高等学校 3 年	79.7%	85.8%	85%	88%





# 政策目標 3

## 『ライフステージに応じたスポーツ活動の推進』

運動やスポーツに対する意識の啓発を図るとともに、関係機関の連携・協働を強めながらスポーツ実施率向上に向けた取り組みの充実により、県民の誰もが、各人の自発性のもと各々の興味・関心・適性等に応じて、日常的にスポーツ活動に参画できる社会を目指します。

### □ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ・スポーツのとらえ方を、競技性やゲーム性のある種目というとらえ方から「ウォーキング（散歩）やジョギング、レクリエーション、遊びなどの運動も包括する身体活動と広くイメージできるよ」う啓発を図ります。
- ・運動をしたくてもできなかった人々を中心に運動やスポーツに親しむことができる取り組みを増やし、既にスポーツを行っている人々については、更なる実施頻度の向上を目指し、ライフステージに応じたスポーツへの参加等を促進します。

## 具体的方策

### □市町村及びスポーツ推進委員との連携・協働の強化

- ・「地域スポーツ推進協議会」や市町村担当者との打合せによる目標や課題の共有
- ・スポーツ推進委員の地域スポーツ環境整備キーパーソンとしての位置付け
- ・スポーツに関わる人々の連携・協働の推進

### □体育協会との連携

- ・目標や課題の共通理解による地域スポーツの振興・推進に関する取組の充実
- ・県体育協会のスポーツ振興委員会と共同開催の「ブロック会議」等の充実による地域スポーツ振興に対する県民の関心や意欲の向上

### □参加機会の充実

- ・県スポーツ推進委員協議会との連携による新たな取組の展開と県民へのスポーツに関する意識啓発
- ・各市町村での軽スポーツ教室等の開催促進

### □指導者等の養成・確保・活用

- ・高い専門的知識、技能、資格を有する指導者の養成と確保
- ・スポーツ推進委員の資質向上
- ・大学・企業・民間との連携による指導者の確保

### □国際交流の推進

- ・スポーツ交流を通じた相互交流と地域活性化の推進



項目	平成 25 年度 (基準年度)	平成 30 年度
1年に1度もスポーツをしない者の割合	40.5%	20.0%





# 政策目標 4

## 『住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備』

総合型地域スポーツクラブの育成や広がり・スポーツ指導者・スポーツ施設・スポーツ情報ネット等の充実を図ります。また、スポーツに関わる様々な主体の連携・協働による、スポーツ環境の整備の総合的・計画的な推進を目指します。

### □コミュニティの中心となる地域スポーツクラブの育成・推進

- ・総合型地域スポーツクラブが「新しい公共」を担い、コミュニティの核となれるよう、各市町村での総合型地域スポーツクラブの育成を推進します。
- ・総合型地域スポーツクラブの運営方針の見直しや住民の運営参画を促進します。

### □スポーツに関する施策等の推進

- ・本プログラム各市町村・関係機関等への周知、事業等の推進に向けた連携・協働を促進します。
- ・市町村でのスポーツ推進計画の策定や様々な取組等の実施を促進します。

## 具体的方策

- 総合型地域スポーツクラブの設立・育成と広域スポーツセンターの充実
  - ・地域に根付いた総合型地域スポーツクラブやスポーツ教室の設立・育成
  - ・運営会議及びクラブ間の連絡協議会の充実や情報ネットにおける情報発信
- 地域のスポーツ指導者等の充実
  - ・県スポーツ推進委員協議会の研修会等の充実
  - ・スポーツ少年団の指導者を中心とした地域スポーツの指導者の養成

### □市町村のスポーツ推進計画の策定

- ・全市町村でのスポーツ推進に関する計画の策定
- ・計画策定での地域スポーツ推進委員の活用促進

### □スポーツ施設の整備、利用拡大・充実

- ・運動場や体育館等の地域への開放を促進
- ・施設の機能の充実

### □スポーツ情報提供システムの充実

- ・体育・スポーツ施設、指導者、各種イベントや生涯スポーツに関する情報提供システムの充実



項目	平成 25 年度 (基準年度)	平成 30 年度
総合型地域スポーツクラブを設置している市町村の割合	88.9%	100%
新スポーツ推進計画を策定している市町村 (策定中も含む)	11.1%	80%





# 政策目標 5

## 『競技力の向上』

トップアスリートの活躍により、県民が夢や希望をもった活力ある健全な社会の形成につながるよう、競技スポーツの競技力向上を図るため、ジュニア育成からトップレベルに至る体系的な人材養成システムの構築や、スポーツ環境の整備を目指します。

### □ジュニア育成からトップレベルに至る支援の強化

- ・競技団体や地域等と連携しながらトップアスリートの発掘・育成を支援します。



### □スポーツ指導者の養成・研修やキャリア循環の形成

- ・トップスポーツの推進に寄与する指導者の養成や、トップアスリートから指導者に至るキャリア形成体制を充実させます。

## 具体的方策

- 優秀選手の育成・強化**
  - ・関係団体と連携した優秀選手の強化事業の推進
- スポーツ医・科学の活用**
  - ・健康管理体制の確立や効果的なトレーニング、コーチング方法の導入
  - ・アンチドーピング講習会等の参加促進
- 一貫指導体制の推進**
  - ・中、長期的展望に立った一貫指導体制の確立
- 優秀選手等の表彰**
  - ・優秀選手、チームの表彰による県民のスポーツに対する関心の向上
- 競技力向上を図る指導者の養成**
  - ・各種講習会の充実や競技団体等の講習会への講師派遣
- トップアスリートの活用**
  - ・トップアスリートによるスポーツ教室、講演会等の実施
  - ・デュアルキャリアについての意識啓発



項 目	平成 25 年度 (基準年度)	平成 30 年度
国民体育大会における個人、団体の上位 8 位以内の入賞数	79 人	100 人
国民体育大会における天皇杯 900 点、順位 20 位台	856.5 点 / 31 位	900 点 / 20 位台
トップレベルの競技者の養成・確保のための一貫指導体制を確立している競技団体の割合	78% (平成 24 年度)	100%





## 政策 目標 6

### 『トップスポーツと地域における

### スポーツとの連携・協働の推進』

トップスポーツで培われるアスリートの技術や経験、人間的魅力を地域スポーツに還元し、スポーツの活性化と裾野の拡大に繋げるとともに、次世代アスリートへの発掘・育成によるトップスポーツの伸長に寄与するスポーツ界における好循環の創出を目指します。

#### □トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進

- ・次世代アスリート育成と地域スポーツの推進や学校の体育に関する活動を充実させるため、トップスポーツと地域スポーツの連携・協働を推進します。

#### 具体的 方策

##### □拠点クラブの活用

- ・トップアスリートを活用した地域のジュニアアスリート等の指導
- ・小学校体育活動コーディネーターの派遣

##### □スポーツ推進委員の活用

- ・地域のスポーツ活動をコーディネートするスポーツ推進委員の活用推進

##### □地域スポーツと大学等との連携

- ・学生によるスポーツボランティアの活用
- ・小学校の体育の授業等を充実させるための地域の指導者の積極的活用

##### □2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿等の誘致

- ・市町村や関係競技団体等と連携した誘致活動の展開

##### □スポーツツーリズムの推進

- ・スポーツを地域の観光資源とした特色ある地域づくり

##### □多様なスポーツ活動の推進

- ・地域の実情に応じた、児童生徒の多様なスポーツ活動の推進に向けた取り組みについての検討



やまなしスポーツ推進プログラムの全文はホームページで公開しています。

<http://www.pref.yamanashi.jp/sports/suisinprogram/2014.html>

山梨県スポーツ健康課 <http://www.pref.yamanashi.jp/sports/index.html>

やまなしスポーツ情報ネット <http://www.sports.pref.yamanashi.jp/>